

【様式】

政 務 活 動 一 覧

議員名：前原 茂

旅行期間	活動日時	活動先			政務活動の内容	関連領収書番号
		住所	活動先の名称	対応部局等		
	6. 4. 14	米子市	富益町松浦宅	参加者 25 名	県政報告会	401
	6. 4. 16	米子市	TETOTE	参加者 6 名	つなぐプロジェクト県政要望	405
	6. 4. 30	鳥取市	鳥取駅	障がい者支援課金山係長他	視覚障がい者同行支援視察	407
6. 5. 11～12	6. 5. 12 9:00 ～ 11:00	鳥取市	県議会公明党控室	家庭支援課松本課長他	不妊治療他補助事業について勉強会	505
6. 5. 28～29	6. 5. 29 10:00～ 13:50	鳥取市	県議会第 3 会議室	主要部署	6 月定例会主要事業説明会	506
6. 8. 1～2	6. 8. 1 14:00～ 16:30 6. 8. 2 10:00～ 12:30	東京	八重洲ビル	地方議員研究会	公共施設特別講座	606 706
6. 9. 1～2	6. 9. 2 10:00～ 12:10	鳥取市	県議会第 3 会議室	主要部署	9 月定例会主要事業説明会	901
	6. 10. 20 10:00～ 13:00	米子市	ねんりんピックイベント		米子コンベンション内イベント会場視察	1006
6. 11. 5～6	6. 11. 6 10:00～ 15:00	鳥取市	県議会公明党控室		会派要望書打合せ	1101
6. 11. 13～14	6. 11. 14 10:30～ 11:30	東京	海運ビル	中国横断自動車岡山米子線整備促進期成同盟	中国横断自動車道岡山米子線の整備促進に関する要望活動	907 1105

6.11.17～18	6.11.18 10:00～ 12:10	鳥取市	県議会第3会議室	主要部署	11月定例会主要 事業説明会	1106
	7.1.11 9:10～ 18:10 7.1.12 9:30～ 12:00	米子市	米子コンベン ション	福祉フォーラ ム実行委員会	あいサポートフ ォーラム 25 に 参加	1205
7.2.2～4	7.2.3 10:00～ 14:15 7.2.4 10:00～ 13:55	鳥取市	県議会第3会議室	主要部署	2月定例会主要 事業説明会	201

- ・交通費（JR等運賃、タクシー代、駐車場代）、宿泊費、会議等への参加費及び会議の開催経費（会場代、講師謝金等）に政務活動費を充当する場合に記載すること。
- ・移動日等も含め政務活動が複数日に渡る場合は、移動日等を含めた「旅行期間」と実際の政務活動を行った「活動日時」を記載すること。なお、旅行期間が1日である場合は、旅行期間欄は空欄とし、活動日時欄の時間は記載不要とする。
- ・県外及び国外での政務活動については、別途「活動報告（県外・国外）」を提出すること。

活 動 報 告 (県 外 ・ 国 外)

議員名： 前原 茂

活動事項	地方議員研究会主催「公共施設特別講座」
活動年月日	令和6年8月1日(木) 14:00～16:30 2日(金) 10:00～12:30
場 所	東京 八重洲ビル
活動の相手方	講師 森裕之(立命館大学政策科学部教授)
活動の目的	公共施設やインフラ施設の老朽化対策を学び、地方財政を圧迫しない持続可能な公共施設の在り方を考えるため。
活動の内容	8/1 14:00～16:30 「学校統廃合と公共施設問題」 8/2 10:00～12:30 「公共施設更新費用と財政的な視点」
活動の結果	2014年度で全国の公共施設の延床面積における小中学校の割合は44.8%を占めている。児童生徒数は、1989年度では約1500万人であったが、2022年度では約1000万人、2/3になっている。 今後の一層の少子化により、小中学校の統廃合は全国的に避けては通れない現実となっている。2002年度から2020年度までで8850校が廃校となっている。この跡地利用など地域住民の意向を踏まえ活用を考える必要がある。また、地方自治体の財政がひっ迫する中、今後の学校統廃合などの判断は、地域との調整も必要となり困難が予測される。 公共施設等の財政の基本的な枠組みとして、国庫支出金、地方債一般財源であるが、維持管理に関しては一般財源が使用される。今後の公共施設は、長寿命化等による維持管理、更新、運営費の抑制が必要となる。公共施設等適正管理推進事業債を有効に活用して、公共施設の延べ床面積の減少を図っていく事が今後必要となる。
関連領収書番号	606 ・ 706

【公共施設問題と学校】

学校は公共施設の最重要課題である。

なぜなら自治体の公共施設において学校が占める延床面積割合が最も多くなっているからである。

【学校統廃合は公共施設問題の本丸と言われる理由】

- ①本来明治時代小学校を作るために地方自治体をつくったため、地域とのつながりが非常に深い。
- ②しかし財政がひっ迫する中で学校は聖域化できなくなっている。
- ③子どもの教育環境を考える要素は多様で複雑なことから各自治体は高い次元の判断と調整が求められる。

【進め方】

統廃合の問題は人それぞれ考えが違ふことをまず知っておくこと、地域の状況に応じて判断すべきで、正解はない。しかし自治体は最終的に公立学校をどうするか判断が求められる。

重要な点は公共サービスの規範的基準にのっとること。

- ①専門性
- ②基本的人権の保障
- ③公平性・平等性(部活動などこの学校はできるのにこの学校はできないなど)
- ④民主性(首長が勝手にきめるのは良くない。当事者の声を聞く)

※文部科学省「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置に関する手引」に具体的手引き、大規模校・小規模校メリット・デメリットが載っている。

【統合の1番の難関】

1番のネックは安全。徒歩距離、自転車での通学、不審者、交通事故。

【地域との関係の希薄化を防ぐために】

学校が関わる地域が広がることをメリットとして最大限活かす取り組みの工夫。多くの人と関わるができるようになることも周知する。

【事例としての紹介】

瀬戸市

秦野市

さいたま市

【廃校の活用もセットで取り組まなければならない】

平成14年度～令和2年度まで全国公立学校の廃校は8580校。毎年約450校が廃校になっている計算。一方で活用の用途が決まっていない廃校数は増えている。

用途変更の事例は学校・社会体育施設・社会教育や文化施設・企業の施設・創業支援施設・福祉施設・医療施設・体験交流施設・庁舎・備蓄倉庫・大学・住宅となっている。

【考察】

見附市で現在取り組んでいる「見附市立学校配置等検討委員会」の手法が概ね正しいことがまず確認できた。

しかし、この検討委員会の出した内容をもって、これを見附市がどう捉えて判断にいかすのか。

例えばさいたま市のワークショップの事例を上げると、30人のワークショップの参加者をもって全住民の意見を聞き取れたといえるのか。ワークショップで出された案がすべて通るわけではない点。つまり3年かけたワークショップの提案がどこまで使われたのか、という点が重要。

市民がワークショップで一生懸命考えた案通りに進めるのか進まないのか、どこまでその案に報いるのかが大切な視点。

興味のある市民しか来ないが、意見を聞きたいという案内をさまざまな手段で出すことによって、お墨付きをもらえたという判断も大切「市は我々の意見を聞こうとしてくれてるな」ということ。

今後は見附市において検討委員会の内容を市がどう形にしていくかを注視し、今回学んだ視点が入っているかをチェックしていきたい。

活 動 報 告（県外・国外）

議員名： 前原 茂

活動事項	中国横断自動車道岡山米子線整備促進総決起大会
活動年月日	令和6年11月13日（水）移動日、宿泊 同上 14日（木）10:30～11:30
場 所	海運ビル2階ホール
活動の相手方	国土交通省道路局、西日本高速道路㈱
活動の目的	米子自動車道の4車線化と米子・境港までの高規格道路建設の要望
活動の内容	「岡山米子線を全線4車線化し、境港までつなげよう！」 令和6年11月14日に中国横断自動車道岡山米子線整備促進総決起大会を海運ビルで開催しました。 大会では、「米子・境港間を結ぶ高規格道路の早期実現」、「岡山米子線の全線4車線化の早期実現」および 「高規格道路ネットワークの構築に係る予算確保について」を求める決議を採択し、平井知事から山本道路局長へ、伊木会長から西日本高速道路(株) 取締役常務執行役員へ要望書を手交しました
活動の結果	青木・舞立・藤井氏など鳥取県選出の国会議員や平井知事や伊木米子市長、伊達境港市長、竹口大山町長をはじめ鳥取県西部地域の首長が参加しての大規模な決起大会となった。 今後各方面の人脈より中国横断道路の早期整備、とくに境港米子間の高規格道路建設に力を入れて要望活動を活発化していくことを確認した。
関連領収書番号	907 ・ 1105

中国横断自動車道岡山米子線の整備促進に関する

要 望 書



中国横断自動車道 岡山米子線
岡山米子線整備促進
期成同盟会

令和6年11月

鳥取県

中国横断自動車道岡山米子線(蒜山IC～境港間)
整備促進期成同盟会

中国横断自動車道岡山米子線(蒜山 IC~境港間)整備促進期成同盟会

会 長	米子市長	伊木 隆司
副会長	境港市市長	伊達 憲太郎
"	大山町市長	竹口 大紀
理 事	日吉津村	中田 達彦
"	南部町市長	陶山 清孝
"	伯耆町市長	森安 保
"	江府町市長	白石 祐治
監 事	日南町市長	中村 英明
"	日野町市長	塔田 淳一

会 員	米子市議会議長	岡田 啓介	会 員	山里 Load にちなん理事長	中島 宏二
"	境港市議会議長	永井 章	"	日野町観光協会会長	小谷 澄男
"	日吉津村議会議長	山路 有	"	江府町観光協会会長	川上 和人
"	大山町議会議長	米本 隆記	"	鳥取県西部トラック事業協同組合理事長	川上 和人
"	南部町議会議長	景山 浩	"	皆生温泉旅館組合組合長	伊坂 明
"	伯耆町議会議長	勝部 俊徳	"	鳥取県工業会副会長兼支援センター長	前畑 裕志
"	日南町議会議長	山本 芳昭	"	鳥取県バス協会会長	澤 志郎
"	日野町議会議長	中原 信男	"	鳥取県トラック協会会長	川上 和人
"	江府町議会議長	三好 晋也	"	境港水産振興協会会長	江尻 敏美
"	米子商工会議所会頭	坂口 平兵衛	"	環日本海経済活動促進協議会会長	足立 統一郎
"	境港商工会議所会頭	堀田 收	特別会員	鳥取県西部総合事務所長	中原 美由紀
"	米子日吉津商工会会長	土井 一朗	"	境港管理組合港湾管理委員会事務局長	岩下 久展
"	大山町商工会会長	山根 均			
"	南部町商工会会長	仲田 司朗			
"	伯耆町商工会会長	足尾 賢二			
"	日南町商工会会長	福田 一哉			
"	日野町商工会会長	中西 康夫			
"	江府町商工会会長	川端 雄勇			
"	米子市観光協会会長	伊澤 勇人			
"	境港観光協会会長	結城 豊弘			
"	大山町観光協会会長	足立 敏雄			
"	南部町観光協会会長	岡 宏徳			
"	伯耆町観光協会会長	川原 かなよ			